

自立活動

京都府立南山城支援学校
令和2年1月17日(金)
No. 3

3学期がスタートしました。1・2学期につけてきた生活上や学習上の困難を改善・克服するため必要な力をさらに発揮できる3学期になるよう、指導・支援を進めていければと思います。御協力よろしくお願いたします。



生活の中で活かせる座位動作の確認！！支援のコツを共有しました



冬休みの宿題の棒ダンスをおさらい。背筋をピン！と伸ばせる



股関節をスムーズに伸ばられるようになったね。すごい！！



冬休みのクリスマスイブ（12月24日）には、肢体不自由のある児童生徒を対象に、自立活動研修会として「理学療法士との相談会」を開催しました。御参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

日頃なかなか詳しく聞くことができない子どもたちの理学療法的な視点からの「身体」について、実際に体操やストレッチ等をしながらかえる良い機会となりました。



自立活動においては、理学療法・作業療法・言語療法の専門的な知識や技能を活かした指導を推進するため、作業療法士や言語療法士の専門家との連携協力を図っています。また、情緒面や行動面において気になることがある場合は、教育学や心理学の専門家等からの指導・助言を活かした改善を図っています。

自立活動の意義

自立活動は、人間として基本的な行動を遂行するために必要な要素と障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素で構成しています。

心身の調和的な発達の基盤に着目して指導するのが自立活動であり、自立活動の指導が国語や算数（数学）等の各教科において育まれる資質・能力を支える役割を担っています。

